



いにしえ

# 古の心と伝統を今に、未来につないだ 多久聖廟創建300年祭



■修復を終えた孔子像

恒例の秋季釈菜・孔子祭・  
多久まつりも盛大に同時開催



せんざ  
■「孔子像遷座式」の様子。綺麗にならされた孔子像を台車に乗せ、郷土資料館から聖廟まで約2 kmを巡行しました。孔子様が安置された後、聖廟境内で「釈菜の舞」を華やかに披露する多久高校生が巡行の先頭を務めてくれました。



■約450人の聴衆が聞き入った童門冬三氏の記念講演。演題は「恕」の心と多久聖廟



■県道沿いを引く緑が丘小の児童

10月25、26の両日に行った多久聖廟創建300年を祝う記念式典や孔子像遷座式などの記念イベント、そして同時に開催した秋季釈菜、孔子祭、多久まつりは、県内外から多くの観光客が訪れ、「孔子の里」多久市の歴史に新しい風を興した秋祭りとなりました。300年の歴史の深さに、今が彩られ、まさに「温故知新」であり、「近き者説へば、遠き者来たる」の孔子様の教えそのもの。歴史と遭遇し、人と出会い、感動と笑顔に満ちたイベントでした。このまつりを写真で振り返りましょう。